

芸乃鶴飼 演目
「天狗裁き」



芸乃樽斗 演目「トクさんトメさん」 ↓「笑いヨガ」



芸乃鶴飼さん、芸乃樽斗さんによる落語、お2人の演目は、どちらも大変面白く笑いが絶えませんでした。落語の後の笑いヨガは、笑いを取り入れたもので、「ほっ」「はっ」と発声して、手を左右に振ったり、上げたり下げたり楽しく体を動かしました。「また落語が聞きたい!」とのお声もたくさんいただき、大好評でした。

◆令和8年 西条市二十歳の集い(旧成人式)について◆

令和8年西条市二十歳の集いが下記のとおり開催されます。

地域別の2会場開催となりますのでご注意ください。

1. 日 時 令和8年1月11日(日)

＜受付＞14時00分～

＜式典＞14時30分～

2. 場 所 丹原文化会館(西条市丹原町田野上方2131番地1)

※西条地域の方は総合文化会館(式典:10時30分～)での開催となっております。

3. 対象者 平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの方

※市内に住民票がある方には12月中旬に案内状を送付します。

※進学・就職等で市内に住民票がない方も西条市の二十歳の集いに出席できますので、希望される方は以下にご連絡ください。

4. 問合せ 西条市教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係

連絡先 電話0897-52-1254(係直通)

心のオアシスコーナー

三通りの言葉の受け止め方 ～怒らずに受け流す

人の言葉ひとつで、人は喜んだり、悲しんだり、怒ったりするものです。日々を穏やかに過ごすためには、言葉の受け止め方が大事であると思います。

言葉の受け止め方に、仏典では、三通りあると教えてくれています。

① 岩に刻むような形で、言葉を聞いて、長い間心に持ち続けて相手を恨んでしまうような態度があります。

② 土とか砂の上に、字を書くように言葉を聞く態度もあります。土や砂の上であれば、しばらくして、風が吹いたり、雨が降ったりしたら消えていきます。

③ 水の上に字を書くように言葉を聞く態度があります。小川の水面(みなも)に言葉を書いても、それはたちまちのうちに消えて流れ去っていきます。

人の言葉で怒らないためには、「水に字を書くようなつもりで、それを受け流していきなさい。」と、教えてくれています。

怒り(アンガ)をコントロールすることが、日々を穏やかにすごすコツであると思います。怒らないことは、長寿の秘訣の一つであると思います。

❖❖❖ 令和7年度「国安地区人権・同和教育学習会」を終えて ❖❖❖

国安地区人権・同和教育学習会にはお忙しいなか、多くの方にお越しいただきありがとうございました。

今回の講師、西条市生涯学習推進講師 木村 留里子氏の「一緒に考えてみませんか 大切なこと」の講演を聴いて新たに学ばれたこと、感じられたことなどあったのではないでしょうか。参加者の皆さんにご記入いただいたアンケートを集計しましたので、当日参加された方もされなかった方も、ぜひご一読ください。

令和7年度国安地区人権・同和教育学習会 アンケート結果

※()は令和6年度実績

参加者合計 85(68)名 アンケート回収 81(65)枚 回答率 95.3(95.6)%

問1 あなたの年齢は

20歳代 8.2(8.8)% 30歳代 12.9(11.8)% 40歳代 29.4(32.4)%
50歳代 20(22.1)% 60歳代 11.8(7.3)% 70歳以上 13(13.2)%
不明 4.7(4.4)%

問2 本日の講演をお聴きになっての感想をお書きください。

- ・慌ただしい毎日の中で、「差別はよくないこと」と思っていても、勉強したり、人権について考える時間がなかなかとれませんでした。だからこそ、本日の講演を通して差別について学び考える機会がとてもありがたかったです。無知・無関心で、誰かを傷つけてしまうことがないように、今日の学びをいかしていきたいと思いました。(20歳代)
- ・恥ずかしながらハンセン病問題について、まったく知らない事だらけでした。知らないから差別していないんじやなくて、まず知る事で、差別をしないようにできると知れて、とても良かったです。(30歳代)
- ・「私は差別をしていません。」と自分自身も思っていた時がありました。今日の話を聞いて、改めて自分自身の差別心と向き合うことや正しい知識を持って行動していくことの大切さを学びました。差別を受けていた人々が築き上げてきた芸能や医学の発展の話には感動しました。(40歳代)
- ・私達は、人権・同和教育を学び続けないといけないことを改めて感じることができました。特に「無知・無関心が差別を温存する。」という言葉が心に響きました。今後も、いろいろな学習会に参加し、新しい知識をたくさん身に付け、差別のない世の中になるよう考え方行動していきたいです。(40歳代)
- ・ハンセン病問題について理解をしているつもりでいたが、自分も差別に加担していたんだという思いを新たにもった。革製品、芸能、医学、庭、日本の伝統文化、医学に被差別部落の人達が関わっていたことを、新たにうかがい新たな発見があり、勉強になりました。(50歳代)
- ・無知・無関心では、差別はなくならない。正しい知識を得ることは、とっても大切なこと。差別をしない人になるために、人権・同和教育学習を積極的にしたいと思った。ぜひ多くの人にこの学習会に参加して欲しいと思います。(70歳代)

問3 本日の学習会は講演を聴講しての学習でしたが、このような運営の仕方についてご意見のある方はお書きください。

- ・いろいろな講演を聴き知識を深めたい。(30歳代)
- ・講演者の体験したこと、知識にふれることができたため、ビデオ上映より、より熱心に聞くことができました。(40歳代)
- ・小グループに分かれて考えるスタイルもとり入れてみてもおもしろいし、何より参加者の方々が意見を述べられるので、いいのではないか。(60歳代)
- ・いろいろな仕方があってよいと思います。(70歳代)